

2023年度
多文化共生セミナー

ZOOM
オンライン
開催



各回ともに

定員 **180名**

参加費
無料

外国人とともに生きるために



異なる言語や文化を持った外国籍住民もともに担い手となるような多文化共生の地域社会の姿はどのようなものか、日本人はどのような事柄を知っておく必要があるのかなど、多文化共生社会のあり方を探るセミナーを開催します。

Seminar 1

相手に歩み寄るコミュニケーション

～「なんでやねん」と「ええやんか」から始めよう～

グローバル化が進む社会において、共生社会の実現のためには、人種・性別・宗教・民族などのダイバーシティ（多様性）を認識し認めあうことです。それぞれが相手を思っ歩き寄り、コミュニケーションをとりあい、“自分の当たり前が他人の当たり前ではないことに気づくこと”がなぜ大切なのかなどについて講師ご自身の経験を交えながらお話いただきます。

講師

ウスビ・サコさん

京都精華大学 前学長／全学研究機構長／
人間環境デザインプログラム教授



日時

2024年
1月21日 日
14:00～15:30

視聴入室
13:30～

申込締切

1/17 水

お申し込み
フォームは
こちら

Check!!



Seminar 2

やさしい日本語（実践編）・ やさしい日本語を使ってみる（応用編 ②）

～緊急時・災害時に想定される場面から～

もともと災害発生時に外国人に速やかに情報を伝えるために考案されたのがやさしい日本語です。いざという時には日本人同士でも慌ててしまうものです。周囲の外国人に情報を伝えるためにはどのようにやさしい日本語を使えばいいのでしょうか？様々な場面を想定しながら一緒に考えてみましょう。

（想定場面は予定です。予告なく変更される場合がありますが、あらかじめご了承ください。）

講師

高偉建さん

元独立行政法人 国際交流基金
日本語国際センター 専任講師



日時

2024年
2月17日 土
10:30～12:00

視聴入室
10:00～

申込締切

2/14 水

お申し込み
フォームは
こちら

Check!!



主催



公益財団法人
かながわ国際交流財団

Seminar 1

相手に歩み寄るコミュニケーション

～「なんでやねん」と「ええやんか」から始めよう～

ウスビ・サコ

マリ共和国生まれ。91年来日、99年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。博士（工学）。専門は空間人類学。京都精華大学人文学部教員、学部長を経て2018年4月同大学学長に就任（～2022年3月）。2025年日本国際博覧会協会 副会長・理事・シニアアドバイザー兼任他。

Seminar 2

やさしい日本語（実践編）・やさしい日本語を使ってみる（応用編②）

～緊急時・災害時に想定される場面から～

高偉建（こう・いけん）

中国出身、ラジオ講座で日本語を独学し、日本語専攻のある大学に入学。卒業後は日本語教師になり、その後、日本に留学（大阪大学博士後期課程修了：日本学）。長年来、専門分野の日本語教育学を生かし、国際交流基金日本語国際センターで外国人日本語教師研修に取り組む一方、川崎市などで一般市民向けの「やさしい日本語」の研修にも携わっている。主な執筆論文、著書、など：「日本語学習と日本語の文化的要素」（1991）『阪大日本語研究』第3号・「喚情的前提に関する日中同形語の対照研究」（1995）『現代日本語研究』第2号・「中国大学・学院日本語教師研修における『課題研究』について」（1997）『日本語国際センター紀要』第7号。

申込方法

財団ホームページの申し込みフォーム、またはFAX・メールにてお申込みください。
メールでお申込みの際には、以下の内容をご記入ください。

メールのタイトルを「多文化共生セミナー申込み」とし、希望のセミナー（相手に歩み寄るコミュニケーション・やさしい日本語を使ってみる応用編②）、氏名（ふりがな）、電話番号、メールアドレス、お住まいの自治体（市区町村のみ）、ご所属（任意）を明記の上、「相手に歩み寄るコミュニケーション ～「なんでやねん」と「ええやんか」から始めよう～」は1月17日（水）、「やさしい日本語（実践編）・やさしい日本語を使ってみる（応用編②）～緊急時・災害時に想定される場面から～」は2月14日（水）までにお申込みください。



(FAX) 045-620-0025
(申込み用メールアドレス)
tabunkares@kifjp.org

2023年度 多文化共生セミナー 申込み

希望セミナー (いずれかに○)	セミナー1 相手に歩み寄るコミュニケーション ～「なんでやねん」と「ええやんか」から始めよう～	セミナー2 やさしい日本語（実践編）・ やさしい日本語を使ってみる（応用編②） ～緊急時・災害時に想定される場面から～	セミナー1 セミナー2 どちらも
氏 名	(ふりがな)	電話番号	
メールアドレス			
お住まいの自治体 (市区町村名のみ)			
ご所属（任意）			